

市議会だより

No.177



吾妻公園ではいろいろな色のチューリップが満開となり、家族連れなどを楽しませていました。

平成13年第1回定例会は、3月2日に招集され、22日までの21日間の会期で開かれました。この定例会では、市長提出議案46件、議員提出議案1件の審議を行い、それぞれ原案のとおり可決、同意しました。

再生紙を使用しています

主な掲載記事

- 一般質問を17議員が行う 2～6
- 人事案件2件に同意 6
- 平成13年度予算を可決 7
- 請願・陳情の審査結果 7
- 意見書1件を可決 8
- 不法投棄防止条例を可決 8

一般質問

三月二十一日(水)、二十二日(木)の二日間にわたり、十七人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたる問題について、市当局の見解を求めました。

質問者

- 佐藤 貞雄 (日本共産党)
- 笠井 秋夫 (政友会)
- 蛭間 利雄 (市政クラブ)
- 高橋 定二郎 (政友会)
- 寺口 正宣 (公明党)
- 森下 清秀 (政友会)
- 園田 恵三 (フォーラム桐生)
- 中田 米蔵 (日本共産党)
- 田島 信夫 (政友会)
- 石井 秀子 (桐愛会)
- 大澤 幸一 (フォーラム桐生)
- 西牧 秀乗 (政友会)
- 岡部 純朗 (市政クラブ)
- 関口 直久 (日本共産党)
- 小滝 芳江 (フォーラム桐生)
- 岡部 信一郎 (市政クラブ)
- 下田 文男 (フォーラム桐生)

競艇場施設借上料

質問 競艇場の施設借り上げ料については、施設使用に関する平成十年七月一日付の契約書第一条のただし書により、施設借り上げに関する協議ができるものと考えられるが、協議に入れない理由は何か。

答弁 現下の売上低迷が続く中、収益を確保するためには、いかに経費を抑制するからである。そこで、総体的に見直しをしなければならぬと考えており、施設会社に協議をお願いして

いるところであるが、未だに協議のテーブルにも付けない状況である。

中通り大橋線

質問 中通り大橋線の完成予定には本音と建前があるように聞かすが、渡良瀬川左岸堤防まで完成するのはいつなのか。また、国道五十号までの完成予定はどうか。

答弁 左岸側の平成十三年度末の用地補償ベースでの進捗率は約九十八パーセントとなる見込みであり、平



中通り大橋線予定地

成十五年度には一部工事に着手したい。右岸側についても、早期の事業認可の取得と土地の先行取得を図り、事業推進に努めたい。

KSD問題

質問 KSD(中小企業経営者福祉事業団)の問題をどのようにとらえているのか。桐生市の基本的な考えを聞きたい。

答弁 市内には約八百八十社、約千四百人の会員がいると聞かすが、市との関係は、活動状況等は把握していない。また、KSDの主な事業である災害補償共済制度・災害防止事業・福利厚生事業については、代替制度が桐生商工会議所等で十分整っている。全国的

な問題であり、厚生労働省の動向を見守っていききたい。



環境問題を扱ったページ

質問 地球の環境問題を

環境問題の教育

どのように学校教育に取り入れているのか。

答弁 小学校の社会科や中学校の公民・理科で、地球温暖化等が地球環境問題として取り上げられており、国語や道徳等でも環境問題を題材にしている。また、各学校では、子供たちが環境問題への理解を深められるように、自分たちの生活との関わりを考え、実践できるように取り組んでいる。今後、発達段階に応じた環境教育が体系的に推進できるように努力したい。



整備される新桐生駅の駐輪場

自転車環境の整備

質問 市街地を重点に、日常生活に密着したところで、自転車の走りやすい環

境を整備する動きが活発になってきているが、桐生市では、どのような施策を考えているか。

答弁 通勤、通学等で利用する人の安全と利便性の向上を目指し、歩道の段差解消等の整備を進めている。また、東武線新桐生駅の駐輪場の整備も予定している。今後、自転車を利用できる環境の整備に努めていきたい。

学校教育の考え方

質問 二十一世紀を主体

的に生きる子供の育成を期す観点から、学校教育についての基本的な考え方を聞きたい。

答弁 主体的に生きる力を持つ子供を育成するには自己統制力を身につけさせることが必要だと考えている。また、学校の管理運営については、全校一致の協力体制を確立し、教職員に公務員としての自覚を促し、使命感の高揚を図ることが重要である。基本姿勢としては、厳格の「厳」という姿勢で各学校を指導していきたい。

投票時間の延長

質問 平成九年十二月の公職選挙法の改正により、投票当日、不在者投票とも

に投票時間が延長され、その後六回の選挙が行われているが、投票時間延長の効果は出ているのか。

答弁 不在者投票は、要件緩和や手続きの簡素化で投票しやすい環境が整備されたこともあって、前回比で各種選挙の投票者数が増加傾向にある。また、各種選挙の当日についても、一定の効果があったものと考え

競艇場周辺整備費

質問 競艇場周辺整備事業費助成の現況と、今後の課題は何か。

答弁 昭和五十六年の覚書により、桐生市と阿左美水園競艇組合は、笠懸町に一億五千万円の競艇場周辺整備事業費助成金を支払っているが、先日の桐生市・阿左美水園連絡協議会総会では、売上の低迷が続く中、助成金の金額・使用方法を見直すべきであるとの意見

えている。



桐生競艇場

が出され、議論がなされたところである。同総会の結論は現状維持であったが、今後も働きかけを行ってきたい。

成人式の在り方

質問 成人式が全国各地で異常な事態となる中、自治体による成人式の在り方には疑問の声が高まっている。愛知県犬山市では、今年から市主催の成人式を廃止し、新成人が独自に成人の集いを実施しようとしているが、このような新成人の自主事業という形が本来の在り方ではないか。

答弁 桐生市では平成十一年度から、新成人の意志を尊重し、式典終了後に新成人の集いを実施している。



今年の「新成人の集い」

また、成人の日事業運営委員会を組織し、成人式の運営その他の内容について検討している。

奨学金の予約制度

質問 日本育英会の奨学金には予約制度があり、入学前にあらかじめ奨学金を予約することができる。この制度を利用すれば学費を心配せずに進学できるわけだが、同制度の周知はどのように行われているか。

答弁 県教育委員会は、高等学校を対象に説明会を開催し、中学校には文書を発送して制度の周知を図っている。なお、桐生市でも独自に周知できるようにしたいと考えている。

カツコソウの保存

質問 自然環境に恵まれた鳴神山には多くの貴重な動植物が生育しているが、なかでも「カツコソウ」は全国的にも限られた場所しか自生していないものである。盗掘等で絶滅が危惧されているが、保存事業をどのように考えているか。

答弁 桐生市にとっては、かけがえのない貴重な植物であると認識している。生息地の分布等の調査や群落維持・繁殖方法等の研究を専門家にお願いする予定で

市民アパート建設

質問 人口減少が続く中

あり、その調査報告に基づいて、関係機関と検討し、保存事業の方向を出したい。



仲町三丁目団地

答弁 平成十三年度は仲町三丁目団地を予定しており、入居者とは住み替え等の協議を進めている。次に予定しているのは小梅寮団地で、その後は、浜松町、元宿町B、西堤町の各団地を順次建て替えていきたいと考えている。

あり、その調査報告に基づいて、関係機関と検討し、保存事業の方向を出したい。

無料駐車場の許可

質問 マイカーの普及とともに、大きい駐車場を持つ郊外の大型店にお客が流れてしまい、中心商店街はたいへん厳しい状況におかれています。各商店街では集客のために様々な取り組みを行っているが、大胆な考えとして、自動車で買い物に出掛ける人たちを中心商店街に引き寄せるために、本町通り及び末広町通りを無料駐車場として使用できるようにする考えはないか。

答弁 来街者の利便性だけでなく、地元住民や通過する人たち等、あらゆる角度から交通環境を検討しなければならぬ問題であり、関係機関と十分協議を行う



末広町通りの商店街

てみたいと考えている。

事業系ごみの分別

質問 平成十二年四月にスタートした、一般ごみの五品目の分別収集は順調に進んでいるようであるが、事業系ごみのリサイクルはどうなっているか。

答弁 桐生広域清掃センターでは、ごみ焼却施設に専用ボックスを設置し、持ち込み者の協力により、新聞紙・段ボール・布等に分別し、リサイクルの推進を図っているとしている。

おりひめバス

質問 おりひめバスは市民の生活の足として定着し、桐生市における重要な公共交通機関となっているが、平成十二年度の路線別の利用人数は何人か。

答弁 二月末までの利用人数は、梅田・境野線が八万四千七百七十五人、川内・広沢線が七万三千四百四十九人、新桐生線が十五万八千八百六十六人、相生線が三万七千六百七十七人、名久木・梅田線が二万五千九百五十人、岡



おりひめバス

ノ上・女子高線が一万四千八百九十七人である。

健康保険法の改正

質問 今回の健康保険法

の改正は、高齢者の生活を圧迫するものと考えるが、桐生市ではこの改正をどのように認識しているか。

答弁 老人医療費は年々増加し続け、これが老人保健拠出金の増加につながっており、各保険者の財政運営を厳しくしている。このたびの健康保険法の改正は、このような現状をふまえて行われたものと認識している。なお、この改正により老人受給者の一部負担金が増えていることも承知している。

河川緑地整備事業

質問 渡良瀬川や桐生川の河川緑地整備事業は、市民の憩いの場や野外レクリ



昭和橋下流右岸の間の島付近

エーションの場として、広場や散策路等を整備するもので、平地が少ない桐生市にとっては重要な事業である。平成十三年度には、昭和橋下流右岸の間の島地区においても河川緑地整備事業が始まると聞いているが、どのような予定か。

答弁 同事業の実施時期は、平成十三年度・十四年度の二か年を予定しており、十三年度には、渡良瀬川工事事務所が行う基盤整備にあわせて、散策路・多目的広場等の施設整備を行う予定である。

自立の高齢者

質問 平成十二年四月の介護保険制度スタート前にホームヘルプサービスやデイサービス等を利用していた高齢者のうち、介護保険認定外のいわゆる自立の高齢者への対応はどうなっているか。

答弁 平成十二年度に国の補助事業として新たに創設された介護予防・生活支援事業において、今までと同様のサービスが受けられるような対応となっている。

病気の予防

質問 医療費が増え続け、税収が減少する中、今回、国民健康保険税の値上げが



口腔ケア講習会

行われたわけだが、現在の医療費の増加傾向を押しさえなければ、今後さらに国民健康保険税が市民生活を圧迫することになるのではないか。予防が治療より削減効果大きいことは明らかである。そこで、市民一人一人の生活習慣の改善等、病気の予防に全力で努力すべきと考えるがどうか。

答弁 被保険者一人一人の自覚を増進することは、安定した国民健康保険事業を推進していく上で極めて重要なことだと認識しており、関係機関とも連携を図

NPO法人の役割

質問 今後のまちづくりにおいては、NPO法人の役割が一層重要になると思うが、自治体として、NPO法人にどのようなことを期待しているか。

答弁 市民の社会参加の受け皿として、行政・企業によって満たされない分野や、行政・企業が担うよりも効率的・効果的なサービスを提供できる分野の担い手として期待している。

り進めていきたい。

市町村合併

質問 桐生広域圏の市町村が合併したと仮定して合併特別債を試算すると、標準全体事業費、借入限度額、普通交付税算入率ほどの程度になるか。

答弁 総務省のホームページにより、現在の桐生広域圏の構成市町村で試算すると、標準全体事業費の総額は十年間で約六百六億円、借入限度額は充当率が九十五パーセントであるため約五百七十五億円、普通交付税算入率は七十パーセント

で約四百三億円が交付税に算入されることになる。

斎場施設の改善

質問 桐生広域斎場は冬の間とても寒く、利用者の評判がよくない。中央式場第一式場への通路の内側、中庭面に壁をつくり、冷暖房装置を設置すべきではないか。また、通夜室の改修駐車場の拡張も必要と考えるがどうか。

答弁 現在、組合において、式場・通夜室等の利用方法を検討しており、冷暖



桐生広域斎場

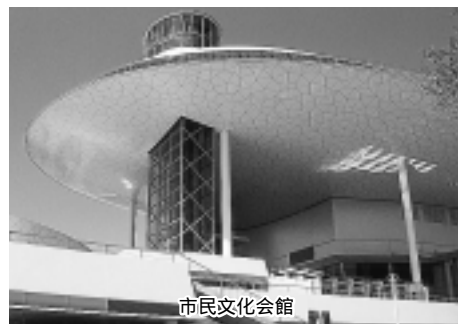
房の件はある程度解消されるものと考えている。また、駐車場の確保についても研究していると考えている。

管理職の増加

質問 平成十一年度からの桐生市の予算規模及び職員数の推移をみると、予算規模は年々縮小しており、職員数も減少しているが、その一方で、機構改革に伴い新しい課や係が増え、管理職員数は増加している。どうしてこのようになったのか。

答弁 職員数の減少は計画的に職員を削減した結果である。なお、管理職員数の増加は、急務とされる行政課題への対応を図り、

いち早く市民要望に答えるため、組織改革を行ったことや、派遣管理職員の数が増えたこと等によるものである。



市民文化会館

市有施設の使用料

質問 地域でボランティア活動や青少年活動をしているグループが市民文化会館等の市有施設を使用する場合には、使用料を減免すべきではないか。

答弁 市民文化会館は、平成十一年十月から、使用料の減額を行っている。公民館は、中央公民館の市民ホールと体育館以外では使用料は無料となっており、市民ホールと体育館についても減免規定がある。

両国橋の架け替え

質問 両国橋架け替え工事に關する境野町・菱町の両地区住民への説明会では、



架け替えが予定される両国橋

住民から、通学の子供たち等が両国橋を安全に利用できるように、歩道を設置してほしいとの要望が出されたが、両国橋に歩道を設置することにしているが、どのように考えているか。

答弁 より広く地権者には用地協力をいただくことになるが、国土交通省とも協議を行い、幅員二メートル以上の片側歩道を設置できるように、道路線形の見直しを検討したい。

小中学校適正配置

質問 小中学校の適正規

模・適正配置は、検討委員会から、現時点で結論を求めることは時期尚早であるとの答申が出されているが、桐生市にとっては避けて通ることのできない問題であり、現時点でどのように考えているか聞きたい。

答弁 教育委員会に検討委員会を組織し、答申書の内容を踏まえ、教育制度の動向等について検討しているが、適正規模・適正配置も視野に入れ、検討していきたいと考えている。

まちなかへの定住

質問 若い人たちがまちなかへ定住できるような環境づくりを進めることは、中心市街地における人口対策として大変重要であるが、桐生市では、若者のまちなかへの定住を促進するために、どのような施策を考えているか。

答弁 老朽木造団地を用途廃止し、低廉な価格による売却処分や、定期借地権付土地分譲を行う考えである。また、まちなかの空き家状況を調査し、その再生

と居住の復活が図られるように、住宅取得に対する奨励金制度や、民間賃貸住宅入居者に対する家賃補助制度等、定住促進に結びつくような施策を検討していきたい。

川内一号线自歩道

質問 川内一号线の自歩道整備は、全体計画の相川橋から小倉峠までの延長約一・二キロメートルのうち、二百五十六メートルの区間が供用されたところであるが、今後の整備計画はどの



川内1号線の自歩道

なっているか。

答弁 残りの区間の工事についても継続事業として取り組み、平成十六年度の完成を目指している。



保健福祉会館の正面玄関

保健福祉会館

質問 JR 桐生駅前にある保健福祉会館は、土・日曜日や夜間になると、正面

玄関を開けてしまったため、同会館を利用する人は玄関わきの通用口等から出入りしなければなりません。本来であれば、正面玄関は開けておくべきではないか。

答弁 保健福祉会館には保健部門と福祉部門があり部門ごとに開館日や開館時間が異なっており、保健部門がある一・二階にはワクチンや注射器等が保管してあるため、安全管理面等を考慮し、保健部門が開館している時には正面玄関を閉鎖しているのが実情である。

事務の委託

質問 平成十三年度には多くの事業を社会福祉協議会に委託する予定であるが同協議会等への委託の基本的な考え方を聞きたい。

答弁 地方自治法に定められた公の権限事務を委託することはできないが、管理については委託できることから、住民ニーズや経費面の効果等を踏まえ、委託をすべきかどうか検討してきた。社会福祉協議会は、準公的機関として委託先と考えたものである。

図書検索システム

質問 市立図書館の図書検索システムが古くなり、更新時期を迎えているが、新しい図書検索システムをどのように考えているか。

答弁 新しいシステムは、公民館図書室、学校図書館等も視野に入れて検討しているところであり、一般家庭からも図書検索ができるようにインターネットへの対応も検討している。なお、

新しいシステムへ移行すると、昨今のコンピュータ機器及び周辺機器の改良により、コストダウンが図られるものと考えている。



図書館の図書検索システム

グリーン購入

質問 事務用品等の物品を購入する際に、価格・品質だけでなく、環境保全の観点を加えて商品を選択する「グリーン購入」をどのように考えているか。

答弁 今まででも環境保全の立場から、エコマーク製品やリサイクル製品の利用を進めていたが、本年四月から、いわゆるグリーン購入法が施行されることからグリーン購入の利用拡大に努めていきたい。

短期的な経済施策

質問 桐生市では、経済施策として、ベンチャー企業の育成や産学官の連携等に取り組んでいるが、これらはどちらかというところ・長期の施策である。今日の厳しい経済状況下においては、短期で成果のある経済施策が必要ではないか。

答弁 設力が予定されている(仮称)「北関東産学官研究会」では、短期的にも効果をあげたいと考えている。頭脳集団である大学の支援によって、企業の新製

式場の通夜使用

質問 桐生広域斎場の式場を通夜にも使用したいという市民の声を聞くが、可能なのか。

答弁 最近では通夜の形式が変化し、告別式と同じ広さを必要とする傾向にある



桐生広域斎場の式場

ことや、通夜室から式場に場所を移すことが不便であること等から、式場で通夜が行えるように、組合で協議を進めているようである。

お知らせ

次回定例会の開会予定は

6月8日(金)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。

詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。平成13年第1回定例会の会議録は、5月下旬からご覧になれます。

なお、会議録は桐生市ホームページでもご覧いただけます。

人事案件

市議会は、人事案件二件に同意しました。

監査委員

大島 宏 周氏
(新任)

固定資産評価審査委員会委員

森 喜美 男氏
(再任)

13年度 予算を可決

賛成討論

日本の景気がさらに失速の気配を強め、桐生市も厳しい財政運営を強いられている状況であるが、市有施設改修事業、北関東自動車道のアクセス道路等、市民福祉に重点をおいたきめ細かい予算編成がなされている。21世紀の市民福祉の向上を実現するために、今日の財政状況を踏まえ、創意工夫を凝らしながらの健全で活力ある予算編成であり、評価できる。

答弁 北関東自動車道へのアクセス道路である中通り大橋線・桐生大橋線の早期完成、群馬大学工学部を中心に設立される（仮称）北関東産学官研究会への支援、そして、環境保全の推進、少子高齢化対策、高度情報化への対応等の施策を重点的に推進していきたい。

平成十三年度予算の重点施策は

「桐生市行財政運営ビジョン」とは

答弁 桐生市行財政運営ビジョンは、桐生市の新たな大綱であり、新公共経営への取り組み、市民との協働によるまちづくり、市民サービスの向上、事務事業の見直し、分権型の人材育成を五つの柱として、五年を目標に改革を進める考えである。

平成13年度一般会計予算及び水道事業会計予算は、それぞれ賛成多数で原案のとおり可決しました。

10事業の特別会計予算については、交通災害共済事業特別会計予算が全員賛成で原案のとおり可決し、その他の9特別会計予算は賛成多数で原案のとおり可決しました。

なお、平成13年度予算を可決するにあたっては、各党派代表の議員（5人）が総括質疑を行うとともに、予算特別委員会（委員13人で構成）を設置し、2日間にわたり、慎重に審査を行いました。総括質疑における、主な質疑に対する市当局の答弁は、次のとおりです。

市税収入の見込みは

答弁 平成十三年度予算における税収は、前年度比で約一億三千六百万円、約一パーセントの増収となっている。これは主として、法人市民税の約一億七千八百万円、約十パーセントの増収が見込まれるためであり、固定資産税、軽自動車税等は前年並みで、個人市民税については若干の減収を見込んでいる。

「北関東産学官研究会」に期待することは

答弁 地場産業振興センターで行っているアドバイスコナーを包括する形で、新たに登録顧問団が設置され、大学の先生や弁護士、

「ファミリーサポートセンター」とは

弁理士等による企業への総合的な支援・協力体制が整備されることにより、北関東地区の産学官連携の推進、地域産業の振興、大学の教育研究の活性化に大きく寄与するものと期待している。

「ファミリーサポートセンター」とは

答弁 育児・介護の支援をしてほしい人と、支援したい人が会員となり、地域で助けあつて、短期的、補助的な育児・介護の支援活動を行なうもので、同センターの主な業務は会員間の育児・介護のあっせんとなる。桐生市では、NPO法人に事業委託し、今年の五月にセンターを設立する予定である。

反対討論

新年度予算の市民アパート建設、おりひめバス上菱線の運行開始等の前進面は評価できるが、多くの課題があるため反対する。介護保険の利用料負担の軽減を行うべきである。特別養護老人ホームの入所待機者の抜本的改善が必要である。国保税の引き上げは低所得者への新たな負担増と滞納増加の要因となる。教育では30人学級を早期に実現すべきである。

請願・陳情の審査結果

この定例会では、請願二十一件、陳情二件の審査を行いました。

その結果、請願一件・陳情一件が次のとおり採択となりました。請願二十件、陳情一件は閉会中の継続審査となりました。なお、議会は、採択となった請願第二十七号に係わる意見書提出を決定しました。（意見書は八ページに掲載）

請願

第二十七号

桐生市農業の持続的発展に関する請願

採択（全員賛成）

陳情

第三号

新桐生桜並木の街路灯設置に関する陳情

採択（全員賛成）

意見書

この定例会では、意見書1件が、議員より提出され、審議の結果、全員賛成で原案のとおり可決し、内閣総理大臣ほかに送付しました。

地域農業と農業経営を守るために緊急輸入制限(セーフガード)の発動を求める意見書

我が国の農業経営をめぐる環境は、野菜をはじめとする農産物の輸入が激増し、市場価格が冷やされ、野菜価格などは長期にわたって低迷し、地域農業に重大な影響を与えている。特に桐生市では、キュウリ・トマト・ネギ・ホウレン草・椎茸等の重要農産物が輸入攻勢にあつて非常に厳しい農業経営となっている。

WTO協定に基づく緊急輸入制限(セーフガード)は、特定産品の輸入急増によって、国内産業に重大な損害、または、そのおそれがある事実につき、政府の国内調査によって明らかになった場合に発動できる「一般セーフガード」と、生糸・肉・乳飲料などの一定農産物に対し発動実績のある「特別セーフガード」があり発動できることになっている。

よつて、国におかれては、輸入急増等で深刻な影響を受けている農業経営者を救済するために、野菜をはじめとする特定産品の国内調査を早急に実施し、輸入急増等による価格低迷に対し、WTO協定に基づく緊急輸入制限(セーフガード)措置を早期に発動するとともに、輸入急増等の事態に機動的、効果的に対応できる制度への見直しを強く要望する。さらに「食料・農業・農村基本法」による、食糧の国内安定供給の確保や食糧自給率の目標達成という観点を全面に掲げWTOの次期農業交渉にあたることを併せて強く要望する。

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 農林水産大臣 経済産業大臣

主な議案

市議会の 政務調査費に 関する議案

桐生市議会政務調査費の
交付に関する条例
原案可決(全員賛成)

概要

地方自治法の一部改正に伴い、市議会議員に対する政務調査費の交付について条例化が義務づけられたことから、本条例を制定するものです。

主な内容は政務調査費の交付対象、交付額、交付方法、使途基準、収支報告書の提出等です。なお、交付額については、桐生市特別職報酬等審議会の答申に基づいたものです。

条例施行日

平成十三年四月一日

不法投棄に 関する議案

桐生市不法投棄防止条例
原案可決(全員賛成)

概要

環境美化の意識啓発を行い、環境破壊・ごみ等の散乱の原因となる不法投棄の防止を図り、市・市民・事業者が協力し、美しいまちづくりを推進するために制定するもの。なお、本条例に関わり、情報提供者への報償制度が導入されます。

条例施行日

平成十三年四月一日

国保税に 関する議案

桐生市国民健康保険税率の一部を改正する条例
原案可決(賛成多数)

概要

桐生市では医療費が年々増加しており、国民健康保険の財政運営が極めて厳しい状況になっていることから、今後の安定運営等を考慮し、あん分率の改正を行うものです。

条例施行日

平成十三年三月二十六日

傍聴席から

竹内幸江さん

桐生市宮本町一丁目

初めて市議会を傍聴する機会に恵まれてから10年近くになりますが、私たちの住むまちやその周辺で、いま何が起きているのか、何が始まるうとしているのかを知ることができて、大変勉強になりました。桐生市を少しでも住みやすくするために、市民の皆さんが気軽に市議会を傍聴することができればと思います。

